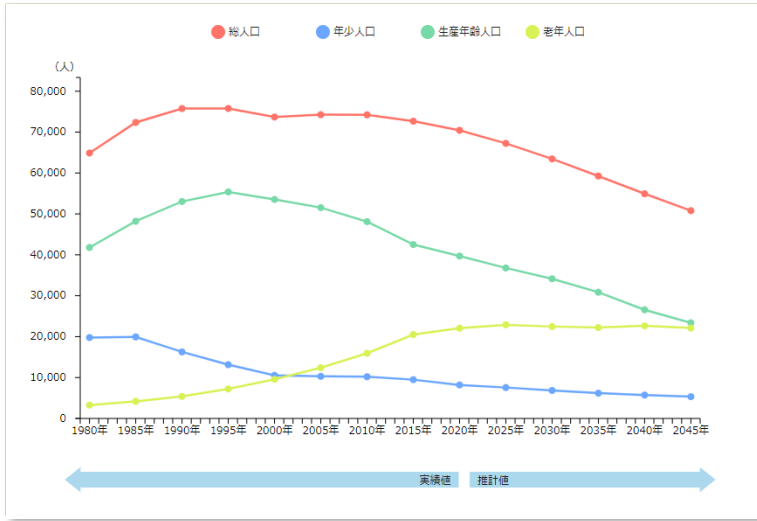


人口



* 人口マップ→人口構成→人口推移

年齢別人口推移

2020年の人口は 70,433人。20年前の73,682人から減少している。

将来人口をみると、今後も減少が続く見込みである。

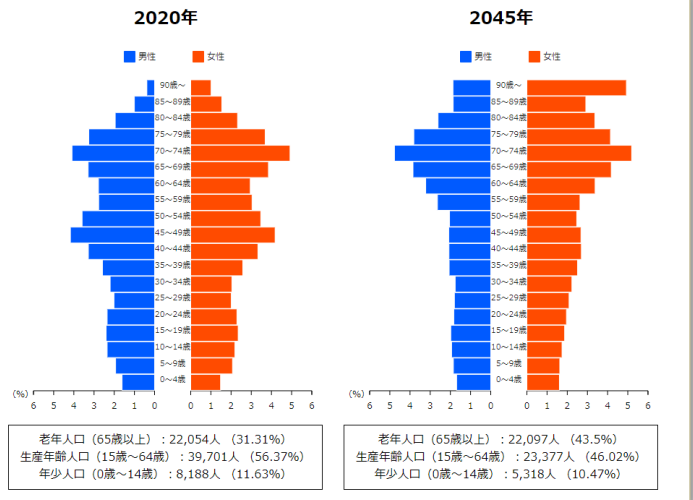
年齢別に今後の傾向をみると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口は2030年まで、横ばい傾向になると予想されている。

※ 年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳
老年人口は65歳以上をさす

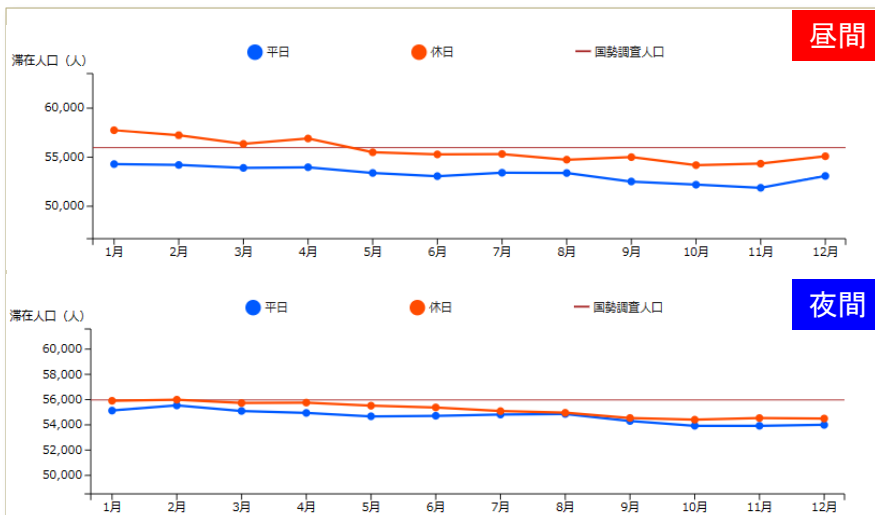
人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口数は、今後の25年間横ばい傾向にあるものの、割合をみると、2020年の31.31%から2045年には43.5%まで上昇すると予想されている。

一方、生産年齢人口は2020年の56.37%から2045年には46.02%まで低下する見込みである。



* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



* まちづくりマップ→滞在人口率→グラフ表示

滞在人口 (2022年)

携帯電話の位置情報を元に、市内に滞在している人の数を毎月示したグラフである。

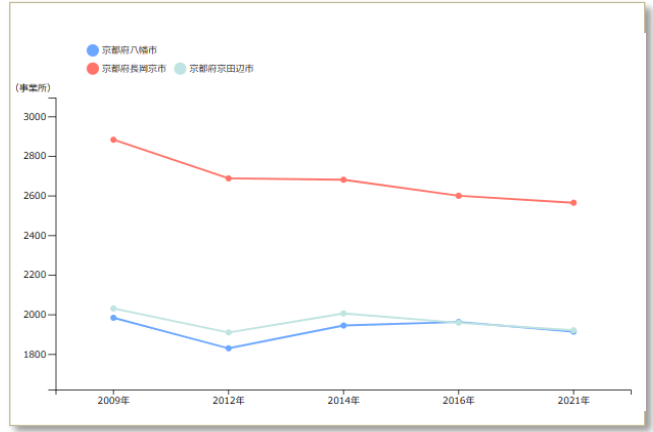
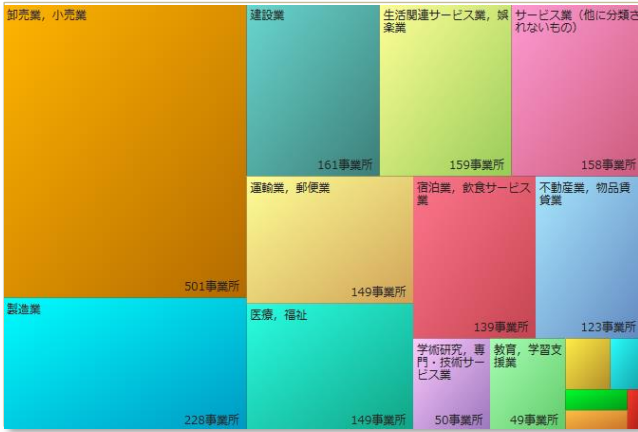
昼間の滞在人口は、年間を通じて、平日よりも休日の方が多い。市外に出る人より、市外から買い物等で訪れる人が多いことが読み取れる。

夜間の滞在人口は、年間を通じて、平日と休日との差は、あまりないことが分かる。

※ 昼間は14時、夜間は20時のデータである

産業構造

対象地域：八幡市
比較地域：長岡京市、京田辺市

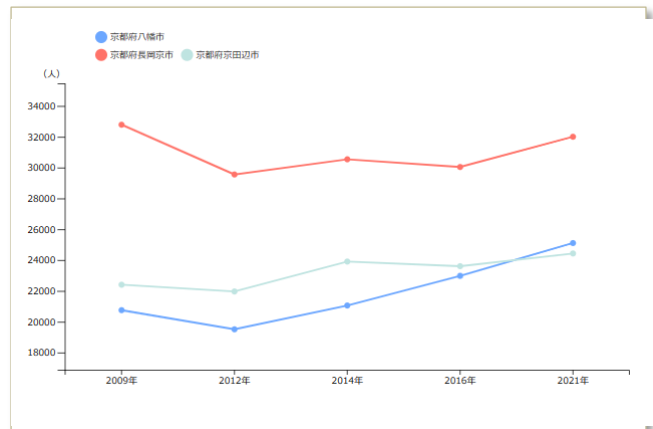
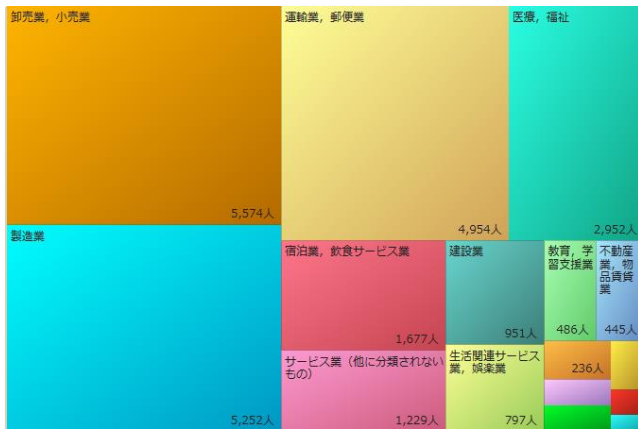


* 産業構造マップ→全産業→全産業の構造 (事業所数)
事業所数 (大分類) (2021年)

業種ごとの事業所数を面の大きさを示したグラフである。最も多いのは「卸売業・小売業」で全体の26.1%、501事業所である。

* 産業構造マップ→全産業→事業所数→グラフ表示
事業所数の推移

2021年の事業所数は1,915事業所である。5年前の2016年と比較して2.5%減少している。周辺地域の推移も同様に減少している。

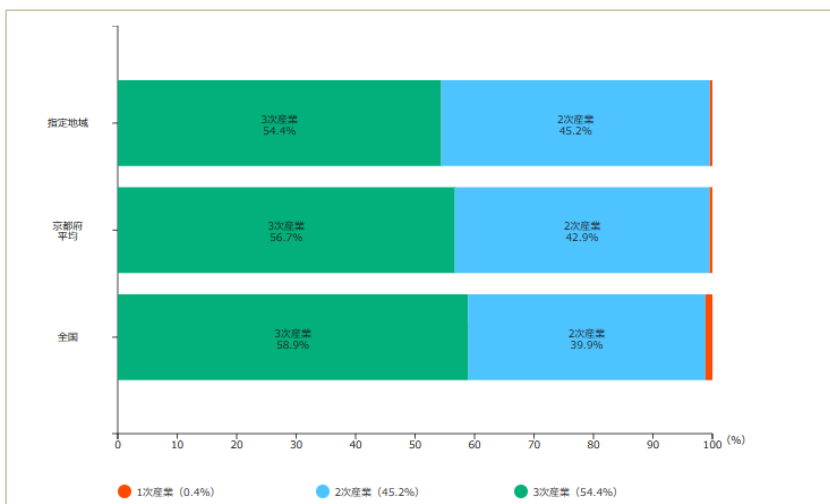


* 産業構造マップ→全産業→全産業の構造 (従業員数)
従業員数 (事業所単位) (2021年)

業種ごとの従業員数を面の大きさを示したグラフである。最も多いのは「卸売業・小売業」で5,574人(22.2%)である。

* 産業構造マップ→全産業→従業員数 (事業所単位)
→グラフ表示
従業員数の推移

2021年の従業員数は25,132人である。5年前の2016年と比較して2,129人(9.2%)増加しており、京田辺市より多くなった。

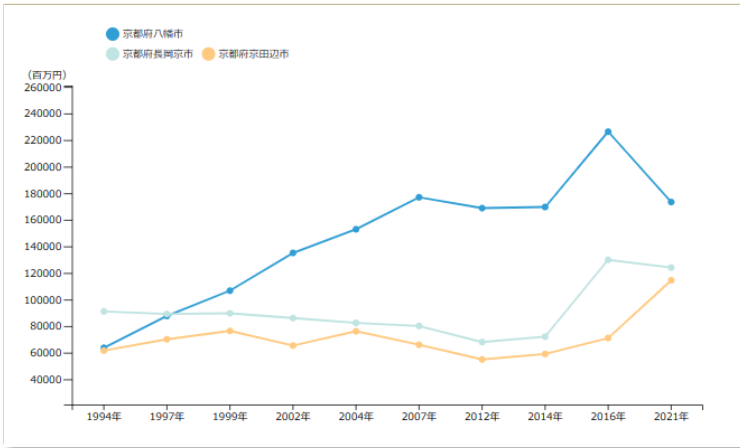


地域内産業の構成割合 (生産額・総額) (2018年)

産業の構成割合を県および全国と比較したグラフである。京都府平均との比較では、若干低い構成割合である。全国との比較では、第2次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低くなっている。

* 地域経済循環マップ→生産分析
→地域内産業の構成を見る
→構成割合をグラフで見る

小売業・卸売業



年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の商品販売額の推移を示したグラフである。

2021年の八幡市の販売額は1,737億円。5年前の2016年と比べると23.3%減少している。

同じ期間で他地域をみると、京田辺市は160%増、長岡京市は4.4%減少している。

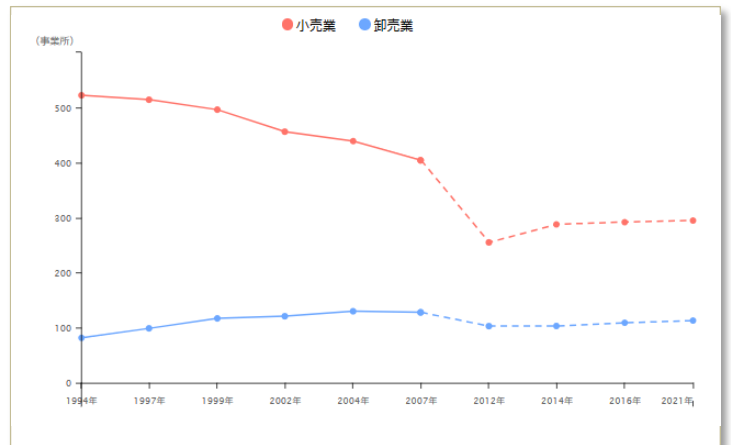
- * 産業構造マップ→小売・卸売業
→年間商品販売額→(販売額) グラフ表示

事業所数（小売業・卸売業）の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。

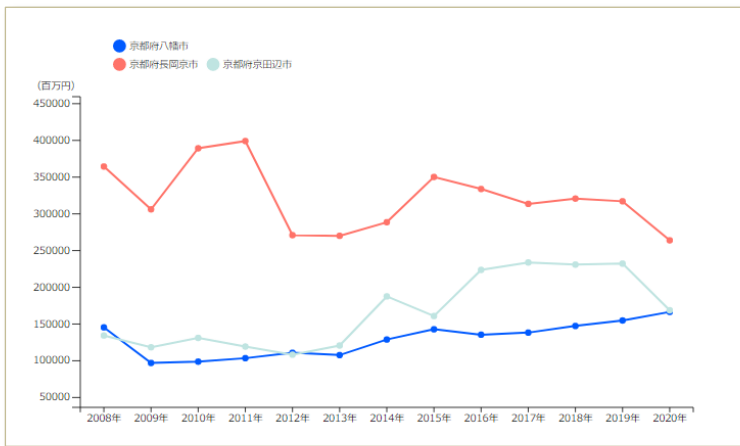
2021年の事業所数は、小売業295事業所、卸売業113事業所。5年前の2016年と比べると小売業は3事業所増、卸売業は4事業所増となっている。

- * 産業構造マップ→小売・卸売業
→商業の構造
→(実数で表示) 推移を見る



※ グラフの破線は集計方法等の変更により単純な年間比較を行えない。

製造業



製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。

2020年の八幡市の出荷額は1,655億円。2015年と比べると116.5%増である。

同じ期間で他地域をみると、京田辺市は104.8%増、長岡京市は24.6%減となっている。

- * 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等
→グラフ表示

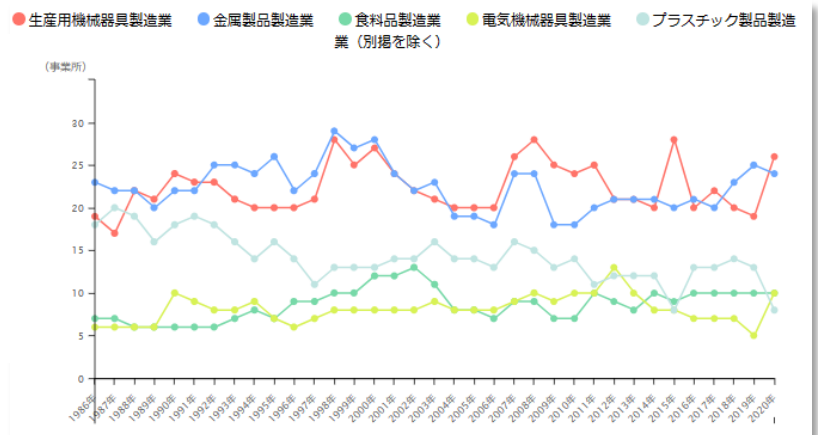
事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。

八幡市には「生産用機械器具製造業」が一番多く、次に「金属製品製造業」が多い。

30年前と比較して、「プラスチック製品製造業」のみ減少している。

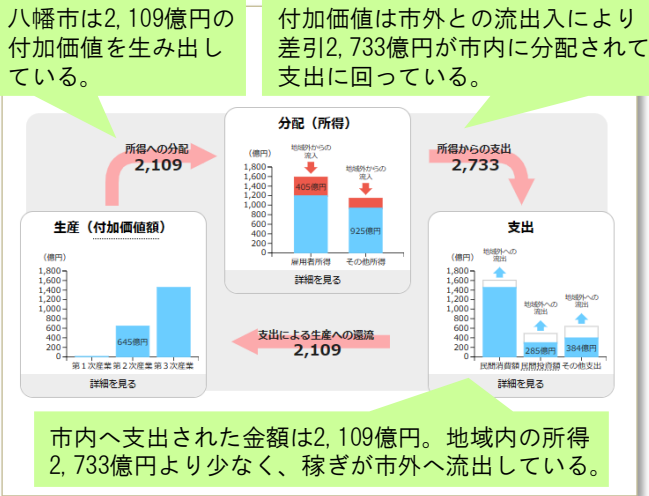
- * 産業構造マップ→製造業
→製造業の構造
→(実数で表示) 推移を見る



地域経済循環

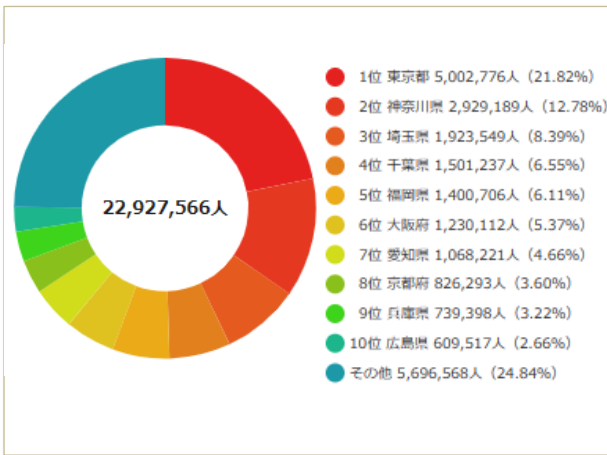
地域経済循環図 (2018年)

地域内の活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて再び地域内に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。



* 地域経済循環マップ→地域経済循環図

観光



* 観光マップ→From-to分析→居住都道府県別

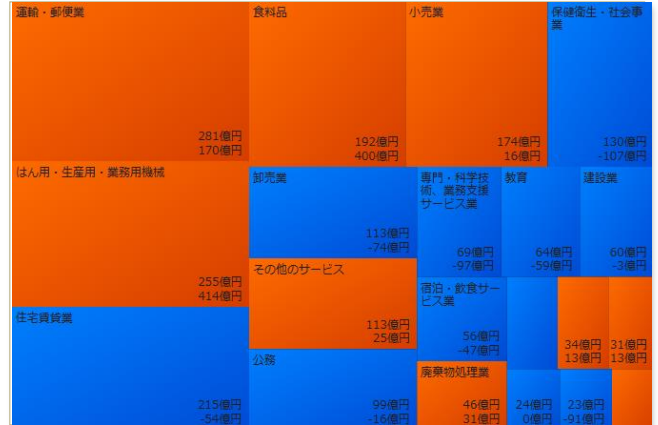
From-to分析 (宿泊者) (2022年)

日本人が京都府下で宿泊した延べ人数の構成割合を、居住都道府県別に示したグラフである。全体の約半数が関東からの宿泊者であり、東京都が21.82%と最も多い。

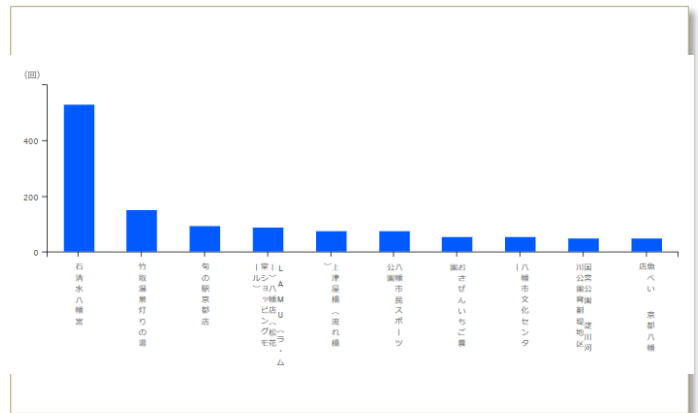
生産分析 (2018年)

左図の生産 (付加価値) の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値が高いのは「運輸・郵便業」「はん用・生産用・業務用機械」である。

グラフの色は、赤色は地域外から稼いでいる産業 (移輸出超過)、青色は地域外から調達している産業 (移輸入超過) を表している。



* 地域経済循環マップ→生産分析 (付加価値額) →地域内産業の構成を見る→移輸出入カラー



* 観光マップ→目的地分析→目的地検索ランキング

目的地検索ランキング (2022年・休日・自動車)

インターネットで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「石清水八幡宮(532回)」「竹取温泉灯りの湯(151回)」の検索回数が多く、来訪者の関心が高いことがわかる。

この経済分析は「RESAS」を活用しています

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータをグラフでわかりやすく「見える化 (可視化)」するシステムです。地域の実情をビジュアルに把握・分析できます。誰でも無料で使えます。

作成：八幡市商工会

〒614-8093 八幡市八幡三本橋59-9
TEL : 075-981-0234 FAX : 075-981-8556
URL : <https://yawata.kyoto-fsci.or.jp/>